



モーレッツ!

美術自然史館
特別展

たきかわグラフィティ

—チラシの中の1950-60年代—



8月22日(日)まで

終戦からの復興で日本全体が活気にわく1950〜60年代。特に滝川では周辺地域の炭鉱が繁栄する中、商店や映画館が増え、1958年には滝川市制が施行されるといふ最も勢いがあるモーレッツな時代といえます。

市郷土館にはその当時の商店街や映画館のチラシが多数収蔵されており、その躍動感あふれる紙面からは、活気付く生活の様子や人でにぎわう街の空気感を感じることが出来ます。

今回の特別展では、初公開となるチラシや当時の市街地図、写真、生活用品等を展示しています。ぜひ、モーレッツだった滝川を振り返ってみませんか。

モーレッツ! たきかわグラフィティ関連事業

■ 講演会「アレから半世紀」

無料

【日 時】 7月17日(土) 10時30分〜
【場 所】 美術自然史館 ロビー
【講 師】 白井 重有さん(滝川市郷土研究会参与)
【定 員】 30人

■ ワークショップ「むかしのあそび」

無料

【日 時】 8月14日(土) 10時30分〜15時(随時)
【場 所】 美術自然史館 ロビー
【内 容】 ゴム鉄砲やメンコなど、昔の遊びを楽しめます。

■ ウェルカムアートの展示

【内 容】 明苑中学校美術部制作の昭和をテーマとした巨大画(縦1.8m×横4.6m)を展示
※7月中旬展示予定

- 開館時間 10:00 ~ 17:00 (入場は16:30まで)
- 休 館 日 月曜日(8/9除く) 8/10(火)
- 入 場 料 一般300円 高校生以下無料

【問 合 先】 美術自然史館
TEL.23-0502

今と昔を比較

すると・・・

昭和の経済成長長期に、豊かさや憧れの象徴として、白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫の3つの家電が「三種の神器」と呼ばれていたことは有名な話ですが、とある調査では、令和時代の三種の神器は、4K/8Kテレビ、冷蔵庫、ロボット掃除機だそうです。そう考えると、これまでに存在しない家電が登場した昔の衝撃はすさまじく、生活が劇的に便利になる転換期といえます。

よく、今と昔を比較すると、当時は不便で大変だったとの印象がありますが、私たちが思うほど、昔の人たちは不便だと思っていたのでしょうか。当時においては、その生活が普通であり、それより以前と比べれば、むしろ便利になったと感じるほど時代の最先端だったはずなんです。

ある意味、技術革新という歴史的瞬間を目の当たりにし、これまでにない感動を得られたというのでは、昔の人たちが羨ましく思えます。この夏はモーレッツな時代へタイムスリップし、当時の感動に触れてみてはいかがでしょう。



いえむら 家村 たかし 卓さん(89歳)

現在も町内会長を務められる家村さん。長年消防団員や民生委員を務め、昭和58年から平成20年までは、保護司として指導監督や補導援護に力を入れ、犯罪予防活動や更生保護事業にも尽力されてきました。平成20年には瑞宝双光章を受章しています。

もともと滝川ではなく、深川の出身だったんだけど、親父の商売の関係で昭和13年に滝川へ移り住み、今の大通り沿いには昭和28年に引っ越してきたんだ。ここでは、親父の農機具販売を手伝いながら、初電車のときには、発電機を滝川駅に取り付けたこともあったよ。

近くには昔獣医があっただけけど、馬車の時代じゃなくなっちゃったね。元第一生命隣の駐車場には、須貝興行のポウリングセンターもあったんだ。あの頃はポウリングがすごくはやってねえ。玉突きもあつたし、近くだからよく行ったもんだ。春先になると中川文潮堂は教科書を買求める生徒ですごかったね。大通りで今も営業しているお店といえば、フタンのつづぎと川口時計店へらごかなあ。

そうそう、現在の北門信用金庫の付近は昔個人の店が集まった市場だったんだけど、なぜか毎年12月になると大火事になってね。昭和28年から消防団員だったので、よく覚えてるよ。あの頃は木造のため火事が多かった。

その後、名店ビルが建ったんだけど、ビルにはテアトル宝映もあつてとてもにぎやかだった。今は映画館なくなっちゃったね。



モーレッツな時代を振り返って

昔、満州に住んでいたんですけど、危険な状態になったので、終戦の1週間前に北海道に引き揚げてきました。

今の場所(有明町)に引っ越ししてきたのは昭和27年で、それまでは人造石油で働いていたんですけど、倒産してしまい、親が経営する吉田軍手屋を継ぎました。その後は作業服を売り、現在の衣料品店になったんです。

昔の思い出といえば、一軒一軒にお風呂がないので、よく瀧乃湯(本町)に行きましたね。途中に今の立体交差、当時は踏切でしたが、とにかく列車の行ったり来たりが激しく10分、15分待たにやならん。特に冬場のお風呂帰りは、待つ間にタオルがしばれて刀のように立つので、男の子は喜んでました。



めぐろ のりこ 目黒 教子さん(98歳)

現在も現役の目黒衣料品店店主として活躍されている目黒さん。その傍ら、昭和41年から平成10年までは民生委員児童委員としても活動され、ほかにもさまざまな要職を歴任し住民福祉を支えてられました。平成17年には瑞宝単光章を受章しています。



店からすぐの今の温水プールがある付近に石狩川の波止場入口がありました。渡船が通っていたので、私も船に乗って砂川の北光に行き、老舗で有名なパンを買いましたよ。また、あの周辺は堤防がなくて浜のようだったので、みんな泳ぎにきてましたね。ただ、水害も多く、この辺は何度も水がつかまりました。堤防が出来てからはなかりましたけど、懐かしいです。